

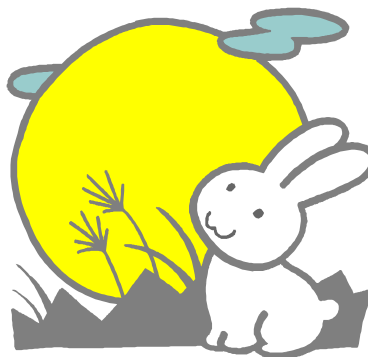
特集

TANTキャンペーン中

ただいまTANTキャンペーン中

まだまだ、暑い日が続いていますが、朝晩はだいぶしのぎやすくなってきました。季節の変わり目は、体調を崩しやすいのでお気をつけください。

さて、TANTの発売20周年キャンペーンを開始し2ヶ月が過ぎました。いよいよ、あと一ヶ月です。頑張りますのでよろしくお願い致します。



嵩高品の話

嵩高の紙が発売されて、ずいぶん経ちます。嵩高紙とは、繊維の密度を低くして軽くて厚みをもたせた紙です。しなやかな紙でめくりやすさや印刷再現性も高く通常の紙とそん色ありません。

出版業界では、ボリュームを落さずコストダウンができることや、手に持っても軽く疲労感なく読めるなどの利点があるためずいぶん使われているようです。

『世界の中心で愛を叫ぶ』や『冬のソナタ上下』など多くのベストセラー本にも使われています。

紙を厚くすることによって、ページ数を少なくしボリュームのある本をつくれます。それによって、本をあまり読まない人は、「私は、こんなに厚い本を読んだんだ」と満足感や達成感が得られる効果があるそうです。

しかし、本をたくさん買って読む人は、「ボリュームがある厚い本は本棚などの場所をふさぐので勘弁して欲しい」と感じているようです。嵩高紙の本が増えること

は、読書家にとっては、あまり歓迎されないことのようにです。

嵩高品は、書籍用紙だけでなく、A2マット、A2グロス、微塗光紙、上質紙などもあります。

価格は、書籍用紙では通常のものと同じくらい同程度の価格帯です。そのため、厚さの分だけ価格メリットがでます。

しかし、A2グロスやA2マットは通常の商品が市況品のため、比べるのが難しいです。それでも、書籍用紙ほどではありませんが価格メリットがあります。

価格についての詳細は、営業マンまでお問合せください。

通常の印刷物、パンフレット、カタログなどではあまり使われていません。当社でも、お客様にお使いになっていただいたのは、ほんのわずかしかなかった。

しかし、これからは嵩高品も選択肢のひとつとして、検討されてみてはいかがでしょうか？

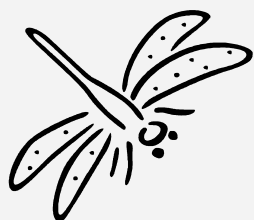
記事

TANTキャンペーン

嵩高品の話

紙とまったく関係のない話

紙の豆知識



スギウラ株式会社
営業一部
〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業一部
027-361-5734

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
現在、リニューアルにむ
けて、作成中です。



お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せくだ
さい。

お問合せ
メールアドレス
sg-takahashi-t
@kamisugiura.co.jp

紙とはまったく関係のない話

先日、大人になってからずっと疑問に
思っていたことを、解決してくれる本に出
会いました。それは、『おとなになると、な
ぜ1年が短くなるのか?』（宝島社・誠一
川・池上彰）です。おもしろい本だったの
で、ご紹介したいと思います。

時間には、「物理的な時間」と「心と体で
感じる心理的な時間」の2つがあります。
「心理的な時間」つまり体内の時計がゆっ
くり進むと、相対的に「物理的な時間」を
早く感じるということです。

大人になって「心理的な時間」がゆっ
くり進む要因はいくつかあります。3つご紹
介します。

- 1.生活環境による要因
- 2.空間の広さによる要因
- 3.代謝による要因

生活環境による要因とは、子供の頃の
ように学校でのイベントや特別な出来事が
多いと、それを楽しみに待ち遠しく思いま
す。まだかまだかと思うほど、時間を遅く
感じてしまいます。大人になると、日常が
単調で変化が少なくなり、時間が早く流れ

るように感じてしまいます。

空間の広さも、時間の流れの感じ方を左
右する要因です。広い場所の方が、時間を
ゆっくり感じます。大自然のなかでは、時間
がゆったり流れるように感じますよね。子供
の頃は、大人よりも体が小さい為、同じ部屋
にいても時間を長く感じるようです。

もっとも大きな要因が、代謝が体内時計を
動かすということです。代謝が活発だと体内
時計が早く進むそうです。子供の頃は代謝
が活発ですが、大人になると代謝が遅くなり
ます。したがって、物理的な時間が早く過ぎ
るように感じてしまうということです。

時間を長く感じるためには、代謝を活発
にすればいいということです。代謝を活発に
するには、運動(有酸素運動、筋力アップな
ど)、血行をよくし汗をかく(サウナ、半身浴
など)、バランスの取れた食事などを実行す
るといいようです。健康的な生活を送るとい
うことですね。

物理的に時間を増やすことはできなくて
も、心理的に時間が長く感じることによって、
気持ちにゆとりが生まれるのではないでしょ
うか。

紙の豆知識

格差は何故あるのか？

上質、コート紙、板紙など紙には、薄物
格差や厚物格差と呼ばれる価格差があり
ます。

薄物格差は、生産効率が悪いために価
格に転嫁されています。簡単に説明すると
上質の45kgと上質の90kgを一日に同じメ
ーター数を生産すれば、生産重量として
は、45kgは90kgの半分しか生産できない
のです。

紙は、通常キロ単価で売りますので、生産
重量が半分になれば、販売金額も半分にな
ってしまいます。そのため、その差を埋める
ために格差をつけているのです。

厚物の場合は、抄紙機のスピードが上げ
られず生産効率が悪いからです。つまり、上
質の90kgと180kgでは、180kgのほうが機械
のスピードが上げられず、一日に同じメー
ター数を生産することができません。その差を
埋めるための格差です。